

部活動などの活躍

《ソフトテニス部》

第30回東京都中体連東部中学校ソフトテニス研修大会

第3位 ○○○○さん ○○○○さん

第66回荒川区民大会体育大会秋季大会

第2位 ○○○○さん ○○○○さん

《吹奏楽部》

第56回東京都中学校吹奏楽コンクール **銀賞**

《陸上競技部》

ジュニアオリンピック陸上競技大会

男子走幅跳 7位 ○○○○さん

男子走高跳 8位 ○○○○さん

《実用数学技能検定》

3級取得 ○○○○さん ○○○○さん

4級取得 ○○○○さん ○○○○さん

5級取得 ○○○○さん ○○○○さん

6級取得 ○○○○さん ○○○○さん ○○○○さん

猛暑の夏の練習を乗り越えて、運動部も文化部もさらに大きく成長しました。
秋には新人大会が始り、南二中の活躍が続きます。応援よろしくお願いします！

南千住マイスターのコーナー

現・日光街道(国道四号線)三ノ輪橋交差点から千住大橋方面に300mほどのところに「円通寺」という寺があります。観音堂上の金色に輝く観音像が目を引き、曹洞宗の寺院です。この寺は、791(延暦10年)坂上田村麻呂によって開かれたと伝えられています。境内にある石造り七重の塔の基礎には平安時代の名将・源義家が奥羽征伐をした際、この地に48の首塚築いて供養ことなどを示す「重興圓通寺記杆塔銘」が刻まれています。

また、境内に入ると、正面左側に「黒門」があります。この黒門は明治維新の時の上野戦争(戊辰戦争)で激戦地となった上野寛永寺の総門が移築されたものです。この上野戦争で亡くなった彰義隊員を円通寺の住職(佛磨和尚)が、現在の上野公園(西郷隆盛像があるあたり)で弔い、火葬したことから、後に帝国博物館(現・東京国立博物館)にて円通寺に下賜された。この黒門の脇には亡くなった彰義隊員の墓もあります。

円通寺には、もう一つの寺が世に知られる出来事がありました。1963年3月に発生した「吉展(よし)のぢちゃん事件」です。当時、戦後最悪ともいわれた身代金目的の幼児誘拐殺人事件です。身代金は50万円、犯人にまんまと奪われてしまいました。この事件では、日本で初めての報道協定が結ばれたことでも注目されました。

事件は犯人逮捕により、1965年7月に解決を迎えますが、吉展ちゃん誘拐後、間もなく殺害されたことが判明しました。犯人の供述で遺体はこの円通寺境内の墓地から発見されました。この痛ましい事件の報道で、テレビには毎日のように南千住の街が映し出されました。敷地内には被害者を慰霊する小さい子どもを抱いた地蔵があります。

円通寺は歴史的にも由緒のある、また、吉展ちゃん事件でも注目された日本中に知られた寺院といえます。

南千住の史跡・文化財 第5回 『円通寺』

現・日光街道(国道四号線)三ノ輪橋交差点から千住大橋方面に300mほどのところに「円通寺」という寺があります。観音堂上の金色に輝く観音像が目を引き、曹洞宗の寺院です。この寺は、791(延暦10年)坂上田村麻呂によって開かれたと伝えられています。境内にある石造り七重の塔の基礎には平安時代の名将・源義家が奥羽征伐をした際、この地に48の首塚築いて供養ことなどを示す「重興圓通寺記杆塔銘」が刻まれています。

また、境内に入ると、正面左側に「黒門」があります。この黒門は明治維新の時の上野戦争(戊辰戦争)で激戦地となった上野寛永寺の総門が移築されたものです。この上野戦争で亡くなった彰義隊員を円通寺の住職(佛磨和尚)が、現在の上野公園(西郷隆盛像があるあたり)で弔い、火葬したことから、後に帝国博物館(現・東京国立博物館)にて円通寺に下賜された。この黒門の脇には亡くなった彰義隊員の墓もあります。

円通寺には、もう一つの寺が世に知られる出来事がありました。1963年3月に発生した「吉展(よし)のぢちゃん事件」です。当時、戦後最悪ともいわれた身代金目的の幼児誘拐殺人事件です。身代金は50万円、犯人にまんまと奪われてしまいました。この事件では、日本で初めての報道協定が結ばれたことでも注目されました。

事件は犯人逮捕により、1965年7月に解決を迎えますが、吉展ちゃん誘拐後、間もなく殺害されたことが判明しました。犯人の供述で遺体はこの円通寺境内の墓地から発見されました。この痛ましい事件の報道で、テレビには毎日のように南千住の街が映し出されました。敷地内には被害者を慰霊する小さい子どもを抱いた地蔵があります。

円通寺は歴史的にも由緒のある、また、吉展ちゃん事件でも注目された日本中に知られた寺院といえます。



題字:校長 齊藤 進



学校だより
平成28年9月
第66号
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

JRC活動、レスキュー部の活動を通して



南千住二中は、今年度も夏休み中に生徒による多くの活動がありました。南千住二中のレスキュー部から広がりを見せた荒川区中学校防災部は、宮城県と岩手県の被災地訪問をしました。もちろん南千住二中のレスキュー部からも2名が参加しました。現地では多くの知られざる真実に触れることができ、感動体験を得ることができました。

また、8月26日(金)には、毎年恒例になったレスキュー部夏季防災訓練も行いました。

参加生徒も約170名を今年度は3つのグループに分け訓練を行いました。ここでも多くの成果を上げることができました。



左: D級ポンプを使った消火訓練

さらに、JRC活動のリーダー育成の一環として、東京都リーダーシップトレーニングセンターや東京・北京・ソウルのJRCメンバーの交流会である三首都交流会にも南千住二中の生徒が参加しています。



下: 救急救命講習

いずれも次頁からの記事に詳しく紹介しています。

レスキュー部の活動はさらに広がり、9月17日(土)には、東京消防庁が主催する防災シンポジウムに、レスキュー部員5名が参加しました。この催しは、東京の防災・減災について考え、具体的な取り組みにしていこうというものです。消防総監をはじめとして、行政・大学教授などの来賓のほか、300名以上の一般参加者の前で発表が行われました。発表者は地域の消防団など4つの団体で、大人たちに混じって南千住二中のレスキュー部も発表しました。絆ネットワークの取り組みや夏季防災訓練、地域の保育園合同避難訓練、普段からの地域ボランティアを通しての地域の人たちとの交流活動など、たくさんの取り組みを紹介しました。発表の内容もさることながら、その発表態度や防災に対する意識の高さは、出席者を驚かせ、感動さえ生み出しました。

南千住二中のJRC活動やレスキュー部などこれらの取り組みは、地域防災という観点からも高く評価されています。また、これらの活動により、生徒の心の豊かさを確実に高めています。このような多くの機会を与えてくださっている関係諸機関の皆様、地域の皆様、ありがとうございます。

円通寺
黒門と観音堂

荒川区中学生被災地派遣

今年も区内の中学校から2名が被災地に派遣されました。南千住二中の代表として参加したのは、2年生の2名です。8月1日・2日の2日間にわたり、被災地の復興のようすを見学し、釜石東中学校の生徒から当時の体験談を聞いたり、災害時の避難経路などについてグループディスカッションを行いました。初日に訪れた南三陸町旧防災対策庁舎は、津波が建物に迫る中、女性職員が最後まで町民に放送で避難を呼びかけた場所です。鉄骨だけ残されたその姿は衝撃的で、震災の記憶として全員の人に深く刻まれました。陸前高田市にある奇跡の一本松からは、生きる勇気と希望をもらいました。釜石東中学校の取り組みからは、「その時にできる最善をつくす」「率先して避難する人になる」ことなどを学びました。被災地を訪れ、震災の体験談を聞いて、震災の悲惨さを実感するとともに、震災の教訓を未来に伝えていき、そして、「今私たちにできること」を考え、さらに防災について意識を高めていく決意を新たにしました。



奇跡の一本松は復興の象徴と なっています。



丘の上に建つ石碑は津波の到達を示しています。

震災の悲しい記憶を呼び起こす旧防災対策庁舎

JRC 三首都交流会

JRC精神は世界共通！たくさん仲間ができました。



7月27日(水)から8月1日(月)までの6日間にわたり、青少年赤十字(JRC)三首都交流会が行われました。これは東京(日本)、ソウル(韓国)、北京(中国)、三都市のJRC中学生代表が集まり、活動を報告したり、交流を深める事業です。今年北京を会場にして行われ、南千住二中からは、〇〇〇〇さんが代表に選ばれ、約1週間のプログラムに参加しました。

交流会では、各国の文化の紹介や活動内容の交換、民族衣装による舞踊や料理の紹介などが行われました。言葉や文化の違いを乗り越えて、お互いを理解し協力できることを確かめ合う、大変有意義な6日間でした。

都 JRCトレセン

8月2日(火)から5日(金)に、高尾の森わくわくビレッジで、東京都のJRCトレセンが行われました。トレセンはJRCのリーダーの養成を目的とする宿泊型の学習活動で、毎年夏休みに都内の中学校のJRCメンバーの代表が集まり行われます。今年、1年生と2年生の4人が荒川区の代表として参加。

4日間にわたり、赤十字とその精神について学習したり、車いすを使った福祉体験やさまざまな奉仕活動を通して、相手の立場にたって考え、自分のできることで、他の人の役に立ち、自分を活かす知識や技術、行動などを学びました。トレセンの経験で得たことが、これからのJRC活動で大いに活かされることを期待します。

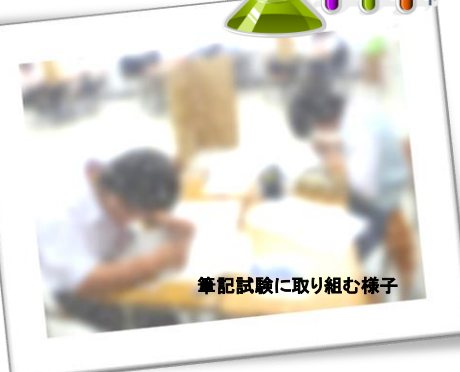


JRCの次代を担うリーダーたち

中学生科学コンクール

東京都内の中学校に在籍する中学生が3人1組となり、理科・数学などの能力を競い合う「中学生科学コンテスト」が8月28日(日)に、都立富士高等学校附属中学校で開会されました。今年には都内の国公立中学校71校から161チームが参加。南千住二中からは1年生の3チームが初出場し、協力しながら、理科・数学などの筆記競技と実技競技にチームワークで取り組みました。実技競技では、ストローとモールを組み合わせて、強く高い構造物をつくるという課題に挑戦！〇〇〇〇さんと〇〇〇〇さんのチーム(この日1人が欠場)がストローで筋交いを入れた耐久性の高い作品をつくり、上位3位以内の成績を記録し、実技部門の優秀賞に輝きました。11月20日(日)に開催される東京都の「科学の祭典」で表彰されます。

実技部門
優秀賞



筆記試験に取り組む様子

防災シンポジウム2016

9月17日(土)、スクワール麹町で、「防災シンポジウム2016」が開催されました。これは、東京消防庁と(財)東京防災救急協会の主催による意見交換会で、“若い世代と地域が連携して防災に取り組む”ことを目的としています。南千住二中からは、2年生の5名が若い世代の代表として参加。防災の最前線で活動する大学や消防団などに続いて、絆ネットワークや夏季防災訓練、保育園合同避難訓練などのレスキュー部の防災への取り組みを事例として発表しました。はじめての中学生の活動報告に注目が集まり、充実した発表内容と立派な発表態度に会場からたくさんの拍手と賛辞の声をいただきました。



レスキュー部の活動を発表



事例発表者の皆さん

PTAソフトボール大会

8月28日(日)に区内中学校対抗PTAソフトボール大会が行われました。今年には保護者、教職員など約12名が参加。南千住二中チームは結束も固く、チームプレーで対戦相手を抑えて、予選の4試合を全勝で勝ち抜き、決勝へ進出しました。

決勝では七中と対戦。白熱した試合を繰り広げましたが、接戦の末惜しくも敗退。優勝は逃しましたが、みごと準優勝に輝きました。

夏の一日、暑さを吹き飛ばすほどの好プレー、珍プレー(?)にグラウンドは沸き、選手からも応援にいらしたご家族や地域の皆さんからも笑顔と歓声があふれました。

選手の皆さん、お疲れさまでした。
準優勝おめでとうございます！



見事準優勝に輝いた南千住二中チーム



1年生 清里移動教室

オリエンテーリング



3日目、笛吹川スポーツ公園に広がる青空の下に全員集合！

2日目

2日目の朝は雨。台風の直撃で、風雨はどんどん強くなっていきました。車山ハイキングの予定を変更して、バスで長野県岡谷市にある「岡谷蚕糸博物館」に向かいました。バスが岡谷市に入ると、ほんのわずかな時間ですが、風雨が弱まって、信州一の大きな湖“諏訪湖”を眺めることができました。

この地で製糸業がはじまったのは、明治時代初期のこと。高度な技術と質の高さで、シルク岡谷として世界中で利用されてきました。「岡谷

蚕糸博物館」では、その歴史と製糸機器類の展示、実際の製糸工場の見学などをしました。工場では、昔ながらの養蚕方法で蚕を育て繭から出る絹糸を手作業で紡ぎ、美しいシルクを作っていて、蚕に桑の葉のえさやりや実際に生きた蚕に触れる体験もできました。はじめて見る姿に皆興味津津！蚕の肌は、柔らかく滑らかで、ユーモラスな動きに“かわいい”の声が次々に上がりました。日本の近代化の歴史と職人の技、美しい布が小さな蚕から出る糸でできていること、そして自然のありがたさを感じる貴重な体験となりました。

3日目

3日目は台風一過の晴天。学園での朝食、退園車を済ませ、「笛吹川フルーツ公園」に向かいました。昼食後はアスレチックやお土産の購入などをして帰路につきました。

解散式では、**実行委員長で学年委員長が「最高の思い出となる3日間でした。この経験が2学期につながるように、みんなで協力していきましょう。」**

とまとめてくれました。1年生一人一人にとって、学年という集団にとって大きな成果をあげた3日間でした。

1日目

9月7日～9日の3日間、「清里移動教室」が行われました。中学生になってはじめての宿泊行事に、弾む心をおさえながら、皆、運転手さん、ガイドさんに元気よく挨拶をして、バスに乗り込みました。今年のスローガンは『南二中生として、メリハリをつけ楽しむ』。中学生活にすっかり慣れて、授業と休み時間のけじめを忘れてがちな1年生の課題として、「メリハリのある生活」で「楽しい清里にしたい」という思いが込められています。

台風13号が接近する中、雨が心配されましたが、皆の願いが通じたのか、雲の切れ間にすこし青空がのぞく空模様。初日はバスで移動し、清里にある清泉寮を目指しました。到着すると、美し森オリエンテーリングを行いました。班ごとに出発し、美し森山の山頂にある展望台を目指すコースで、途中地図に示された“南千住二中オリジナルポスト”を探して、ポストに書かれたクイズに答えて、記録していききました。道を間違えて、スタート地点に戻ってきた班もありましたが、お互いを励ましあいながら、全班が制限時間に到着できました。ゴールの美し森展望台では、ソフトクリームをいただきました。およそ1時間半の山歩きのあとの冷たいソフトクリームは格別でした。

宿泊施設の少年自然の家に着き、入園式を終えると、美化保健係、入浴係、食事係などのそれぞれの係に分かれ、各自が自主的に活動。3日間を通して、ともに協力して、時間を守り、整理整頓した部屋で快適に過ごすことができました。おいしい夕食をいただいた後は、レク係が用意した、お絵描きリレー、新聞運びリレー、クイズなどのレク大会で盛り上がりました。

きれいに整理した部屋で、楽しく快適に過ごしました。

①くじ引きの順にスタート



②地図をたよりに山道を進むと...



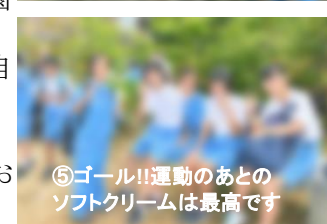
③南二中のポスト発見！



④途中にあるチェックポイントで、はい、チーズ！



⑤ゴール!!運動のあとのソフトクリームは最高です



岡谷蚕糸博物館



製糸工場の見学



繰糸機で糸を紡いでみました。



繭から糸を取り出ししてみました。



蚕の世話も体験。

南千住検定

9月16日(金)6校時に、南千住二中生のみを対象とした南千住検定が行われました。検定実施前には、タブレットなどを活用して過去問に取り組んだり、校長先生による南千住検定講座を全校生徒で受けるなどして事前学習に取り組みました。9月20日(火)には早くもその結果が発表されました。中陳先生の結果発表は毎回ユーモアあふれるもので、アリーナは、はらはらしながらも、マイスター誕生の期待に包まれました。さて、その結果は……。2人のマイスターが誕生！**3年生の〇〇〇〇さんと……さらに1年生の〇〇〇〇さんです。**1年生のマイスターはなんと南千住検定史上初めてのこと。会場からは割れんばかりの拍手が沸き起こりました。さらに快挙は続きました。**全校で1級(90点以上)は15名にのぼり、2級(80点以上)は36名、3級(70点以上)は31名が取得。級取得者が全校生徒のおよそ1/4という好成績をおさめました。**一般受検者を含めた第5回南千住検定は12月10日(土)に予定されています。**保護者、地域の皆さんの参加をお待ちしています。**

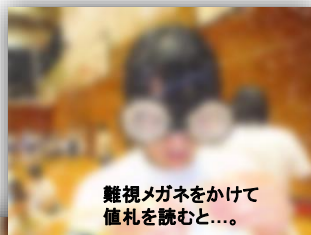


南千住検定級取得者一覧

道徳授業地区公開講座

9月17日(土)の授業公開日に道徳授業地区公開講座が行われました。今回の授業テーマは、1年生「感謝」、2年生「家族愛」、3年生「差別のない社会」でした。1年生は、“隅田川の氾濫から人々の生活を守る”を資料に使い、放水路として巨大な人口の川(現在の荒川)を作った青山士(あおやまあきら)さんの半生を学び、私たちを支えてくれる感謝すべき人々の存在について考えました。2年生は、“一冊のノート”を資料に、祖母に冷たく接していた主人公が祖母の思いが書かれたノートを読んで、後悔から感謝そして家族愛へと変化していく主人公の心を通して、家族への敬愛の念を深めました。3年生は、実際に高齢者や障がい者の疑似体験を行い、日常生活の困難な場面を知り、周りにいる高齢者や障がい者に対して自分ができることを話し合いました。

授業後の協議会では、PTAや評議員の皆さんと教員で活発な意見交換が行われ、中学生の道徳教育の果たす役割への重要性和期待を改めて確認させていただきました。



難視メガネをかけて
値札を読むと…。



足に装具をつけて高齢者の歩行を体験



耳あてをして難聴を体験

夏季防災訓練

毎年恒例となっているレスキュー部の夏季防災訓練が8月26日(金)に実施されました。今年は約170人のレスキュー部員が参加。南千住二中が災害時に避難所となることを想定し、3つのグループに分かれて訓練を行いました。それぞれが、トイレ・ベッド・投光機・発電機の設営をアリーナで体験したり、緊急の炊き出しを行ったり、普通救命講習を受けるなどしました。その後、近隣の高齢者の皆さんを学校まで誘導し、全員で炊き出しのカレーライスを試食。夕方からは、JRC委員による防災クロスロードも行われて、数人ずつのグループで防災知識クイズに挑戦。グループで協力して楽しみながら、防災知識を高めました。

今回の防災訓練も、《気づき、考え、実行する》の南二中精神のもと、生徒は自主的に必要なことを考え行動しました。訓練後の片づけ、清掃も自発的に行うなど、レスキュー部のメンバーの成長を感じる1日となりました。



消火訓練



救急救命講習



段ボールを使って生活スペースを作成



近隣の皆さんと楽しく試食



お米の炊き出し訓練

わくわく街歩き探検隊

南千住二中生がボランティアガイドとして地域の史跡・文化財の歴史や言い伝えなどを紹介する「わくわく街歩き探検隊」が9月11日(日)に行われました。今年は16人がガイド役を務め、回向院、延命寺、日枝神社、円通寺、千住大橋、素盞雄神社、千住火力発電所(南千住二中)の7ヶ所に分かれ、街歩きをしている小学生にわかりやすく丁寧に説明をしました。南千住二中の玄関にある妖怪の御輿や発電所の模型なども見学地のひとつになりました。

この日街歩きを楽しんだ小学生にとって、これまで何気なく毎日通り過ぎていた景色が、その長い歴史などに触れて特別に輝くものになり、南千住の街をさらに好きになったことでしょう。ボランティアガイドを務めた皆さん、お疲れさまでした。



延命寺で首切地蔵について説明



千住大橋の橋脚には旅立つ芭蕉の絵が描かれています。